

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	市立幼稚園運営事業	会計	一般会計	事業No.	138	施策順No.	21-003
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-4-1-10-4		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	子育て支援課		
施策	21 乳幼児教育の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市立幼稚園児						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		通所児童数(年度末)	28	28	26	32	30	
	意図	適正な教育(保育)の場を提供する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	適正な幼稚園教育(保育)が提供できている割合	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		公立幼稚園で適正な就学前教育の提供と安全な給食の提供を行うことができ、支障なく幼稚園を運営できた。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立幼稚園での保育に必要な消耗品、燃料、光熱水費、給食用賄材料等を購入する。</li> <li>食育への取り組みとして、地元でとれた野菜を給食の食材とする「地元食材の日」を年数回実施。 &lt;参考&gt;細々目名:幼稚園運営費</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	公立幼稚園による保育(光熱水費・賄材料費など)	園数 通所児童数 保育日数 食数	1園 27人(H22.4) 293日 8,900食/年
23年度実施計画	公立幼稚園による保育(光熱水費・賄材料費など)	園数 通所児童数 保育日数 食数	1園 34人(H23.4) 293日 8,900食/年

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (そ)幼稚園使用料(現年度分)540千円 (そ)諸収入(給食実費徴収金)477千円
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他		982	1,017	924	
一般財源		3,258	2,393	3,673		
計(A)		4,240	3,410	4,597		
	正規職員所要時間			40		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			143		
	トータルコスト A+B			3,553		

4 事業に対する市民や議会の意見

保護者から、長時間保育や未満児保育など保育サービスの拡充を求める声がある。
---------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	乳幼児が発達段階に応じた健全な育ちができる。	施策の成果指標又はムツ指標	就学前までに基本的な生活習慣が身につく集団生活ができる子ども(就学直後)の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・園児が日々安心、安全かつ快適に過ごせるように、必要な物品等を整備することで充実した保育を受けることができる。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・園児にとって必要なもの、園児のためにどのようにするのがよいか幼稚園の職員と協議をしてきた。		
	後期に向けた課題	・今後も現場の職員の声や園児の様子をまながら対応したい。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・真に必要なもののみ対応している。園では光熱水費等の経費削減に取り組んでいる。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	条例等に基づいた使用料を徴収しているため、受益者負担は適当である。又、市立幼稚園であるためし関与の程度は適切である。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してききましたか	4年間の振り返り	市立幼稚園であるため、主体は市である。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	・保育に支障をきたすことのないよう必要な物品等を手当してきた。		
	後期に向けた課題	・引き続き、実施していく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------